



HOKKAIDO ROAD MAINTENANCE

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間：2023 年4月1日～ 2024 年3月31日)



作成日： 2024年4月1日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	1
環境経営方針	1
組織の概要	2～3
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
環境経営計画の取組実績に対する評価	6
環境関連法規の違反・訴訟の有無	7
中長期計画書集計結果 ・ 評価	8
中長期計画書	9～14
代表者による全体の評価と見直し・指示	15

1970年創業以来、道路維持管理を中心に事業を進めてまいりました。
この50年間の歩みの中で、高度成長期に作られた道路・上下水道の清掃・維持管理を行ってききましたが、現在は、耐用年数を迎え、更新における費用・掘削に取り壊し等で発生する廃棄物・道路交通の渋滞等が社会問題となっています。

当社は、維持管理を通じて蓄積した技術を生かし、取壊して新しく構築するのではなく、補修・補強の技術を提供し、ライフラインの寿命を大幅に伸ばし、不要な廃棄物の削減・コストの削減を実現します。

環境経営方針

<環境経営理念>

当社は、ますます深刻化する地球温暖化や、資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、事業活動における環境負荷の低減を図るために、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

<環境保全への行動指針>

- 1．環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 2．創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 3．受託廃棄物の適正処理を行い、廃棄物の削減に努めます。
- 4．適正な利用により水使用量の削減に努めます。
- 5．有害物質の適正管理に努めます。
- 6．環境に配慮した管更生工法の工事に努めます。
- 7．地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。



制定日：2023年4月1日

代表取締役社長 米野 孝之

□組織の概要

更新日：2023年4月1日

- (1) 名称及び代表者名
北海道ロードメンテナンス株式会社
代表取締役社長 米野 孝之
- (2) 所在地
本 社 札幌市中央区北1条東12丁目22番地48
発寒事業所 札幌市西区発寒15条12丁目1-25
真駒内事業所 札幌市南区常盤417番地
北見事業所 北見市東相内町110番17
北広島中間処理場 北広島市北の里27-3
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
環境管理責任者 専務取締役 吉持 俊則 TEL:011-241-1692
環境事務局長 総務部長 大淵 敬 TEL:011-241-1692
環境副事務局長 工務部長 太田 克之 TEL:011-241-1692
環境事務局員兼連絡担当者 業務係長 長山 洋平 TEL:011-241-1692
email:nagayama@h-rm.co.jp

- (4) 事業内容
廃棄物収集運搬・中間処理業、道路清掃業、道路維持・管理業、管渠・側溝雨水枴清掃業
TVカメラ調査・管更生業、除排雪業、災害支援活動
・事業に係る許可

許可内容	許可年月日	許可番号	事業の範囲
	許可の有効期限		
建設業許可通知書	令和3年9月5日	北海道知事許可 (特-3)石第04548号	土木工事業とび・土工工事業、舗装工事業 塗装工事業・水道施設工事業
	令和8年10月9日		
一般廃棄物収集 運搬業許可(札幌市)	令和5年2月7日	札幌市一廃伐根許可 第218号	伐採物・伐根等の収集運搬に限定
	令和7年2月6日		
産業廃棄物 収集運搬業許可	令和6年4月6日	第00100013711号 積替保管なし	汚泥、廃プラスチック、木くず、紙くず、繊維くず、がれき類 ガラス・コンクリート・陶器くず、廃油、廃酸、廃アルカリ、金属くず、鋳さい
	令和11年4月5日		
産業廃棄物 処分業許可	令和1年5月30日	第00120013711号 北海道許可	天日乾燥(汚泥)、脱水(汚泥)
	令和9年6月10日		
	令和3年1月17日	第05120013712号 札幌市許可	天日乾燥(汚泥)
	令和8年1月16日		
	平成29年6月5日	第05200013713号 旭川市許可	天日乾燥(汚泥)
	令和9年5月26日		

※旭川市許可施設については、工事受注時に借受施設となる為、常設施設ではない。

- (5) 産業廃棄物収集運搬業
・収集運搬車両

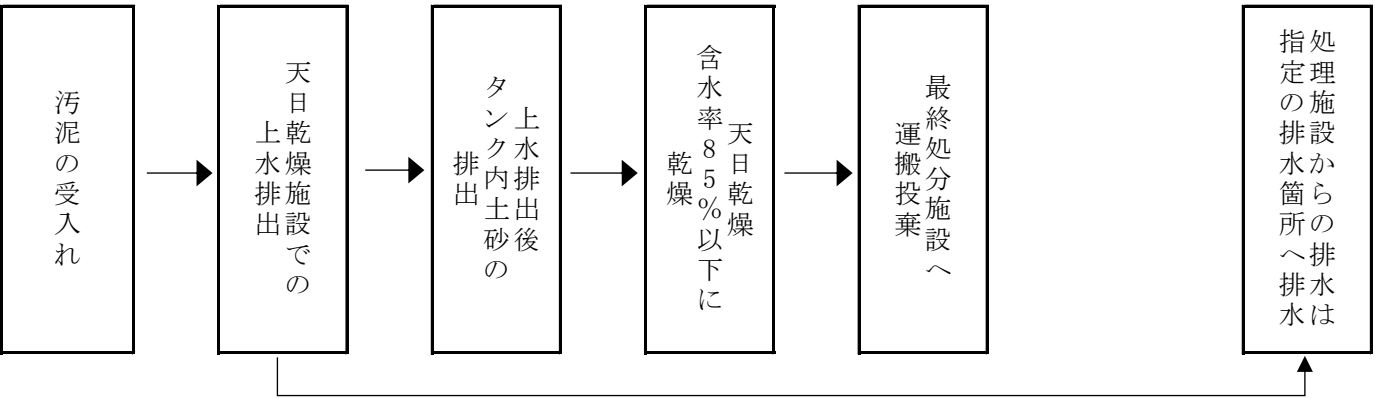
車体の形状	台数
清掃車	15台
ダンプ	4台
作業車	13台
計	30台

(6) 産業廃棄物処分業

・中間処理施設

施設の種類	汚泥の天日乾燥施設	汚泥の天日乾燥施設	汚泥の天日乾燥施設
事業の範囲	天日乾燥(汚泥)	天日乾燥(汚泥)	天日乾燥(汚泥)
設置年月日	平成16年10月1日	平成26年3月12日	平成14年9月25日
設置場所	北見市東相内町110番17号	北広島市北の里27番3	札幌市西区発寒15条12丁目1番25号
処理能力	3.6m ³ /日(24時間) 0.15m ³ /時間	29.4m ³ /日(24時間) 1.23m ³ /時間	3.0m ³ /日(24時間) 0.125m ³ /時間

・中間処理工程



(7) 事業の規模

法人設立 昭和45年12月18日
資本金 3,000万円
売上高 304,575万円／2023年(令和6年 3月)
従業員数 44人(令和6年 3月 現在)

売上高	304,575 万円					
	所在地	発寒事業所	真駒内事業所	北見事業所	北広島中間処理場	合計
従業員	16 名	16 名	5 名	5 名	1 名	44
延べ床面積	1366.08 m ²	5855.77 m ²	161 m ²	139.94 m ²	112.7 m ²	6269.41

受託した産業廃棄物の処理量			
収集運搬量	3,348 t		
中間処理量	3,279 t	うち再資源化量	1,605 t
最終処分量	t		
中間処理後の産廃の処分量	1,673 t	うち再資源化量	t
車種	台数	備 考	
乗用車	45 台	営業車・パトロール車	
4t～20t大型車両	75 台	作業車・夏作業機械	
特殊車両	48 台	冬作業機械	
合計	168 台		

(8) 事業年度 4月1日 ～ 3月31日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 北海道ロードメンテナンス株式会社
対象事業所: 本 社 : 発寒事業所 : 真駒内事業所 : 北見事業所 : 北広島事業所
対象外: なし
活動: 廃棄物収集運搬・中間処理業、道路清掃業、道路維持・管理業、管渠・側溝雨水枡清掃業
TVカメラ調査・管更生業、除排雪業、災害支援活動

□事業や製品(商品)の紹介

管渠清掃工事



管更生工事



災害支援活動

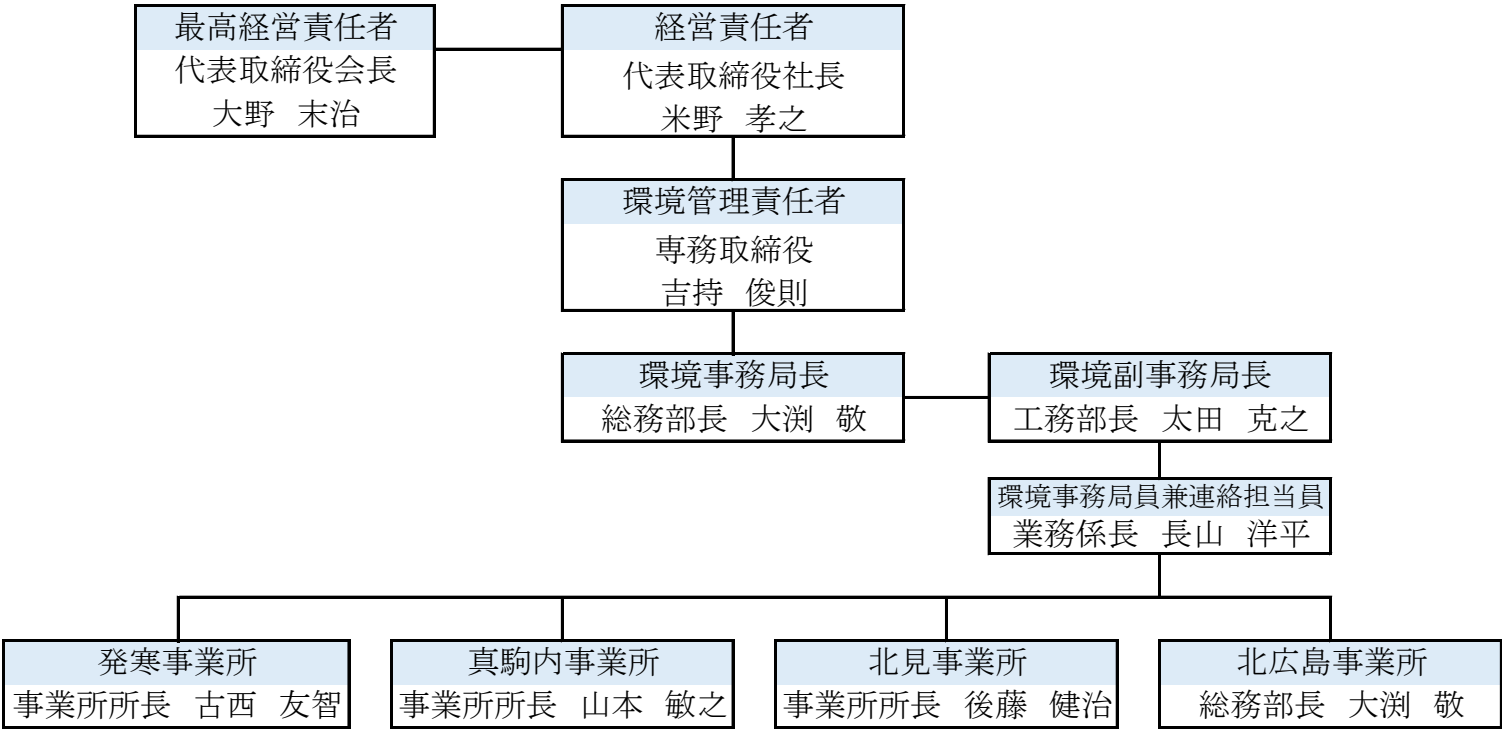


地域貢献活動



保有車両





	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備
	・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定・見直し
	・環境経営目標・環境経営計画書を承認
	・代表者による全体の評価と見直し、指示
	・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・環境経営目標・環境経営計画書を確認
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、環境事務局長の事務局
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
	・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	・環境活動の実績集計
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
環境事務局長	・環境経営計画の審議
	・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知
	・自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施
	・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成
	・試行・訓練を実施、記録の作成
	・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
内部監査チーム	・環境に関する内部監査の計画
	・環境に関する内部監査の実施・報告
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□環境経営計画の取組実績に対する評価

注:達成状況 ◎十分できている ○ほぼできている △未だ不十分である ×できていない

環境計画 (目標値)	具体的項目	達成状況	取組結果の評価
電力による 二酸化炭素削減 前年度使用量に対し、 －2%減を目標とする	・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房24℃)	◎	猛暑や大雪等の影響を受けるが、業務に支障が出ない範囲での取組を今後も行う様にし、削減を目指したい。
	・不要照明の消灯	◎	
	・OA機器の節電モードの各様	◎	
	・使用時以外の消灯(トイレ・更衣室・会議室・書庫等)	◎	
	・外出時、休憩時間の消灯	△	
	・蛍光灯は順次LED化を進める	◎	
	・夏季軽装、冬季重ね着の工夫で過剰な冷暖房の使用を控える	○	
	・熱の出入りを調整する	○	
	・断熱材の採用	○	
LPGガスによる 二酸化炭素削減 前年度使用量に対し、 －2%減を目標とする	・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房24℃)	◎	電力と同様に、猛暑や大雪等の影響を受けるが、業務に支障が出ない範囲での取組を今後も行う様にし、削減を目指したい。
	・温水温度の適正化	○	
	・定時帰宅の推奨	○	
	・省エネタイプ(エネルギー効率の高い)エアコンへ更新	○	
自動車燃料による 二酸化炭素削減 ガソリン・軽油など 前年度使用量に対し、－ 2%減を目標とする	・社有車の省エネ運転、点検整備の励行	◎	今年は猛暑や大雪だったため、影響を受けたが、今後も出来る範囲での取組を行っていく。
	・アイドリングストップの実施	◎	
	・急発進、急加速の禁止	○	
	・過積載の厳禁	◎	
	・ハイブリットカーの導入	◎	
一般廃棄物の削減	・分別の徹底	◎	一般廃棄物については、少量のため目標設定をしていません。一般廃棄物については数値化は難しいので、手順を遵守します。コロナ対策を継続しているため、ペーパータオルを使用している影響。
	・シュレッダー廃紙のリサイクル化	◎	
	・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
	・保存期間切れ書類や身の回りの不要な書類の更なる分別	○	
	・ペーパーレス、両面コピーの徹底	○	
	・使い捨て製品の購入抑制	△	
	・新聞紙、段ボール等の使用済用紙のリサイクル	○	
建設副産物の 再資源化率の向上	・減容化の徹底	○	排出量の削減や適正な処理を行い、今後も向上に取り組む。 ※受注工事量に比例するので、目標数値は設定はしません。今年度参考数値は下記参照。
	・リサイクル先の開拓	△	
受託廃棄物の リサイクル率の向上	・減容化の徹底	○	顧客に対しての依頼の徹底を行い向上に努める。 ※受注工事量に比例するので、目標数値は設定はしません。 発注者の指定先が管理型処分場のためリサイクル率は0%である。
水道水の削減 前年度使用量に対し、 －2%減を目標とする	・節水シールの貼り付けとポスター掲示	◎	水道の使用量については業務量に比例するので、今年度の目標については数値的には達成になってはいないが、出来る事の徹底については今後行って行きたい。
	・節水弁取り付け	○	
	・自動水栓取り付け	○	
	・トイレに擬音装置取り付け	○	
	・節水の周知徹底	○	
	・水漏れ点検の実施	○	
溶剤使用量削減 (あるいは適正管理) 目標としては設定はしません。 (業務量によって使用量が増減し削減が難しいため。)	・発注量の適正化	◎	無駄のない適正発注、使用を心掛ける。※溶剤の使用量については受注工事量に比例するので、目標数値は設定はしません。
	・保管の適正管理	◎	

※次年度も同様の取り組み内容を継続します。また、未達成については達成出来る様に今後も努める事。

2022年度 CO₂総排出量(全体排出量) 1,313,015 kg-CO₂
2023年度 CO₂総排出量(全体排出量) 1,235,415 kg-CO₂

参考数値 2022年度 産業廃棄物再資源化量 (1, 605t)

今年度のCO₂排出量は昨年度より抑えられています。しかし、まだ削減の予知はあると思うので、今後も削減に向けて社員全員でEA21に取り組み、削減への努力を続けて行きます。

□環境関連法規の違反・訴訟の有無

主な適用法規等	要求事項	順守事項
大気汚染		
オフロード法	・建設機械の排出ガス対策	・適合機械の使用
排出ガス対策型建設機械普及促進に関する規定	・基準指定機械の使用	・対策型機械の使用
労働安全衛生法(酸欠則)	・酸欠・硫化水素ガスの基準値の確認	・基準値の測定
労働安全衛生法(特化則)	・第2類物質の適正管理	・管理状況徹底
水質汚濁		
水質汚濁防止法	・貯油施設等からの油流出事故	・安全訓練の実施
騒音・振動・悪臭		
騒音規制法	・特定建設作業(騒音)	・低騒音型機械の使用
振動規制法	・特定建設作業(振動)	・知事への届け出
廃棄物処理		
廃棄物処理法	・事業系廃棄物の発生(一般廃棄物)	・分別、保管、委託契約の確認
廃棄物処理法	・産業廃棄物の発生(産業廃棄物)	・種類、発生量推定の適切性の確認
廃棄物処理法	・産業廃棄物の委託等(産業廃棄物)	・委託契約、処理状況の確認
廃棄物処理法	・産業廃棄物の管理票(産業廃棄物)	・マニフェストの発行、管理
廃棄物処理法	・産業廃棄物の収集・運搬(産業廃棄物)	・対策車輛の使用、マニフェストの管理
札幌市廃棄物の減量及び処理に関する条例	・大規模建築物所有者等の義務	・廃棄物管理責任者の選任
化学物質管理		
PRTR法	・化学物質の排出及び移動	・少量の為、適正保管
省エネ・温暖化防止・オゾン層保護		
フロン排出抑制法	・第1種特定製品の廃棄	・適正処理(引取証明書)
火災・爆発事故		
消防法	・危険物の取扱い	・各種許可書の提出、消化器の設置、保安検査の記録の保管
高圧ガス保安法	・溶接ガスの保管法	・転倒防止等

環境関係法令について遵守状況を確認したところ、違反はありませんでした。
また、関係機関からの違反の指摘、住民からの苦情、訴訟は過去にもありません。

中長期計画書集計結果・評価

事業所名	電力		LPG		ガソリン		軽油		灯油		水道	
全体	2022年	2023年	2022年	2023年	2022年	2023年	2022年	2023年	2022年	2023年	2022年	2023年
(対前年度比)	-11.6%	-8.9%	1680.9%	13.8%	-4.6%	5.9%	-3.3%	-10.8%	-9.5%	15.8%	8.5%	-2.4%
目標達成状況	○	○	×	×	○	×	○	○	○	×	×	○
本社	2022年	2023年	2022年	2023年	2022年	2023年	2022年	2023年	2022年	2023年	2022年	2023年
(対前年度比)	-38.0%	-0.6%	55570.0%	17.0%	-6.3%	-9.2%	-45.1%	121.4%	-94.7%		-19.5%	-7.2%
目標達成状況	○	×	×	×	○	○	○	×	○		○	○
発寒事業所	2022年	2023年	2022年	2023年	2022年	2023年	2022年	2023年	2022年	2023年	2022年	2023年
(対前年度比)	0.2%	-7.3%	0.0%	0.0%	-12.8%	23.5%	-8.7%	-6.8%	-14.1%	16.6%	16.6%	-3.1%
目標達成状況	×	○	×	×	○	×	○	○	○	×	×	○
真駒内事業所	2022年	2023年	2022年	2023年	2022年	2023年	2022年	2023年	2022年	2023年	2022年	2023年
(対前年度比)	18.1%	-20.9%	39.4%	-20.5%	3.8%	10.6%	-3.0%	-13.7%	-7.7%	17.5%	0.0%	0.0%
目標達成状況	×	○	×	○	×	×	○	○	○	×	×	×
北見事業所	2022年	2023年	2022年	2023年	2022年	2023年	2022年	2023年	2022年	2023年	2022年	2023年
(対前年度比)	-1.5%	-9.6%	0.0%	0.0%	4.3%	-3.3%	2.5%	-18.3%	40.1%	2.1%	-8.8%	7.3%
目標達成状況	×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×
北広島中間処理場	2022年	2023年	2022年	2023年	2022年	2023年	2022年	2023年	2022年	2023年	2022年	2023年
(対前年度比)	-28.4%	-4.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	19.5%	24.5%	-16.4%	186.3%	7.4%	-3.4%
目標達成状況	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○

※ 各項目は前年度と対比し2%の削減を目標としています。前年度より削減ヶ所は赤字で表示されています。

評価： EA21を取得してから3年が過ぎ、社員へのエコに対する取り組みも踏まえ、周知は行っている。事業所単位での集計の為、一見不達成が多く見える感じもするがあくまで業務を行いながらの取り組みの為、達成が目標ではあるが取り組む事に意義があると常々周知は行っている。今年度については猛暑・大雪の影響や燃料、資材等の高騰を受け、エコに対する取組についても徹底が難しかった。

しかし、社員への広報も頻繁に行い、出来る事からのエコ活動も周知しています。次年度以降についてもはさらにその意識が定着、広がりを持っていけば会社全体の活動に意義が出てくると思う。なので、今年度の取り組みについても評価は出来、次年度以降の取り組みも行って行きます。

中長期計画書

○環境負荷の状況と目標（基準年：2019年4月1日～2020年3月31日）

電力使用量(二酸化炭素排出量)

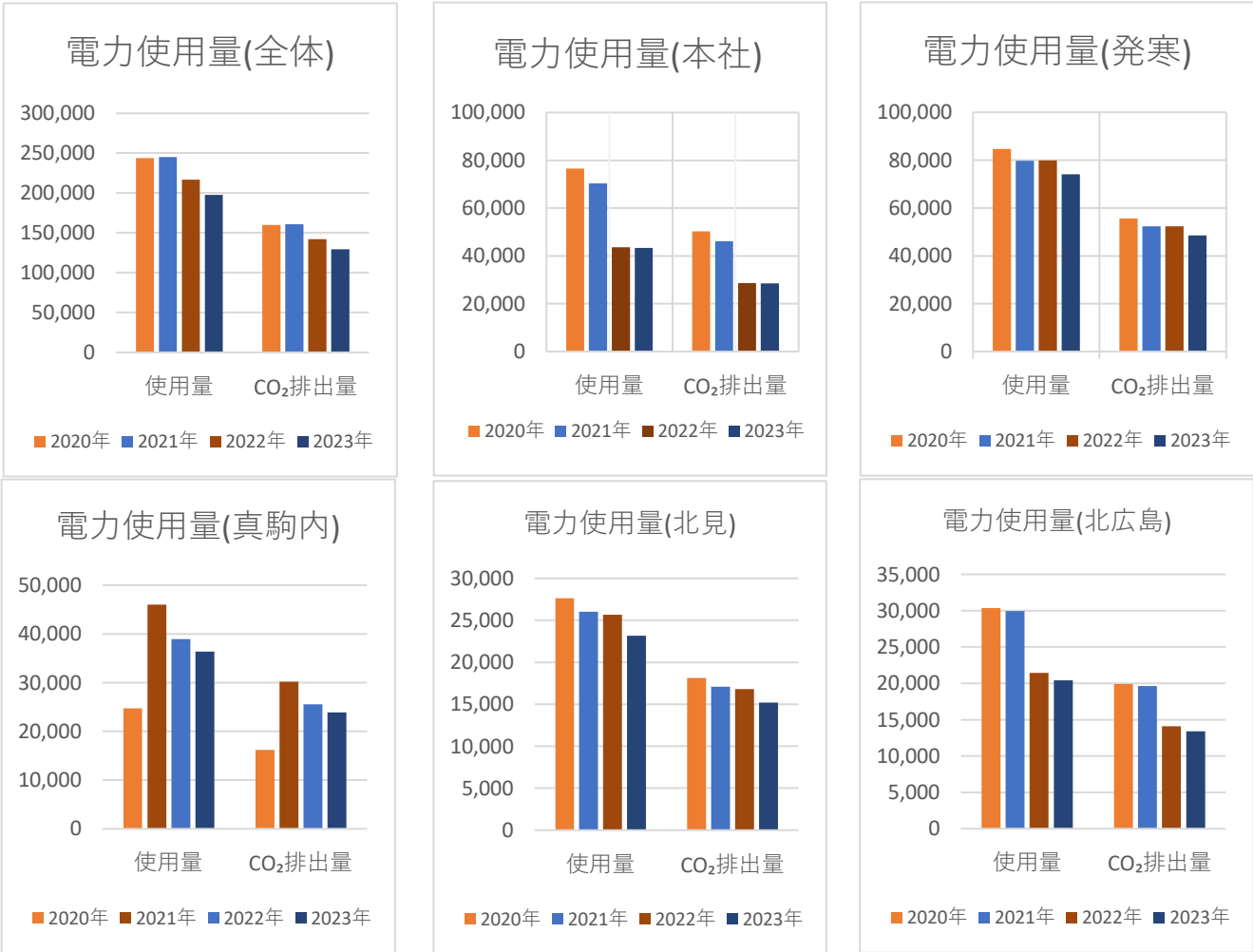
二酸化炭素排出係数は2018年度の北海道電力CO₂排出係数を使用。

本社・発寒事業所・真駒内事業所・北見事業所・北広島事業所(kg-CO₂)

※赤字の％は前年に対しての対比率です。二酸化炭素排出係数(2018年度使用) 0.656

事業所名	kWh	2019年 (基準年)	2020年 (2%削減)		2021年 (2%削減)		2022年 (2%削減)		2023年 (2%削減)	
	kg-CO ₂									
全体	使用量	265,204	244,005	-8.0%	245,093	0.4%	216,708	-11.6%	197,510	-8.9%
	CO ₂ 排出量	173,974	160,067	-8.0%	160,781	0.4%	142,160	-11.6%	129,567	-8.9%
本社	使用量	63,263	76,616	21.1%	70,418	-8.1%	43,672	-38.0%	43,389	-0.6%
	CO ₂ 排出量	41,501	50,260	21.1%	46,194	-8.1%	28,649	-38.0%	28,463	-0.6%
発寒事業所	使用量	109,078	84,683	-22.4%	79,738	-5.8%	79,905	0.2%	74,104	-7.3%
	CO ₂ 排出量	71,555	55,552	-22.4%	52,308	-5.8%	52,418	0.2%	48,612	-7.3%
真駒内事業所	使用量	22,258	24,712	11.0%	38,956	57.6%	46,023	18.1%	36,397	-20.9%
	CO ₂ 排出量	14,601	16,211	11.0%	25,555	57.6%	30,191	18.1%	23,876	-20.9%
北見事業所	使用量	27,866	27,631	-0.8%	26,027	-5.8%	25,646	-1.5%	23,178	-9.6%
	CO ₂ 排出量	18,280	18,126	-0.8%	17,074	-5.8%	16,824	-1.5%	15,204	-9.6%
北広島中間処理場	使用量	42,739	30,363	-29.0%	29,954	-1.3%	21,461	-28.4%	20,442	-4.7%
	CO ₂ 排出量	28,037	19,918	-29.0%	19,650	-1.3%	14,078	-28.4%	13,410	-4.7%

※前年度に対して2%削減目標とする



中長期目標

2024年～2026年度の中長期目標については前年度に対して2%削減目標とする。

総評

今年度については、昨年度より使用量の削減を行う事が出来た。事務所内で使用していない部屋の電気を消すなど、節電への意識が昨年度に比べ高まったと考えている。体調等を考慮しながら、上手な電力の使用を今後も行って行くように思う。週休2日を導入したため、電力の使用量を削減できた。

中長期計画書

○環境負荷の状況と目標（基準年:2019年4月1日～2020年3月31日）

LPG使用量(二酸化炭素排出量)

二酸化炭素排出係数は各年度の日本ガス協会CO₂排出係数を使用。

本社・発寒事業所・真駒内事業所・北見事業所・北広島事業所(kg-CO₂)

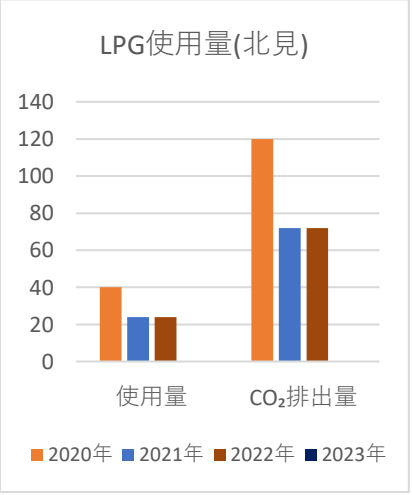
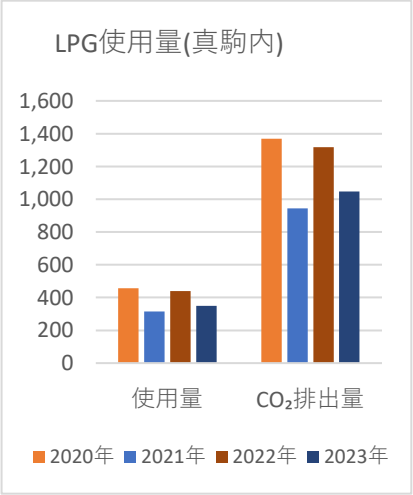
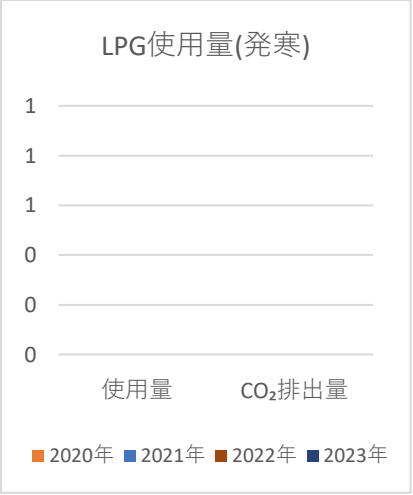
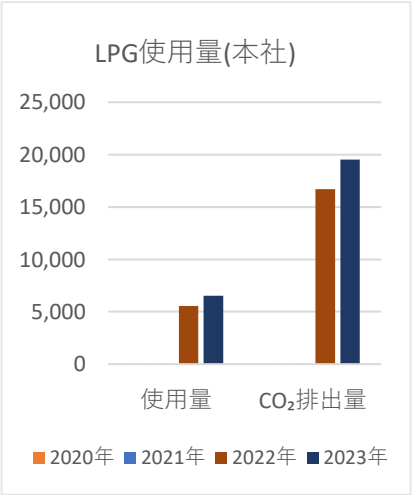
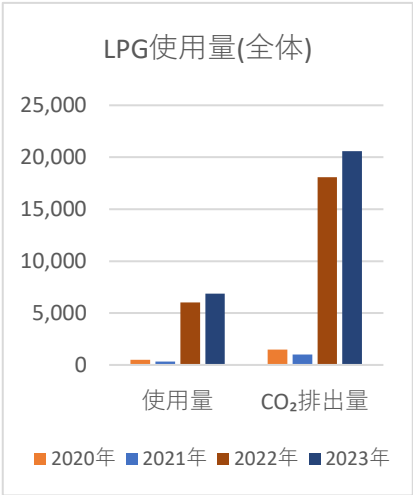
※赤字の%は前年に対しての対比率です。

二酸化炭素排出係数

3.0

事業所名	m ³	2019年 (基準年)	2020年 (2%削減)		2021年 (2%削減)		2022年 (2%削減)		2023年 (2%削減)	
	kg-CO ₂									
全体	使用量	1,265	497	-60.7%	339	-31.8%	6,030	1680.9%	6,861	13.8%
	CO ₂ 排出量	3,795	1,490	-60.7%	1,016	-31.8%	18,090	1680.5%	20,584	13.8%
本社	使用量	0	10	#DIV/0!	10	0.0%	5,567	55570.0%	6,512	17.0%
	CO ₂ 排出量	0	30	#DIV/0!	30	0.0%	16,701	55570.0%	19,536	17.0%
発寒事業所	使用量	0	0		0		0		0	
	CO ₂ 排出量	0	0		0		0		0	
真駒内事業所	使用量	1,217	457	-62.5%	315	-31.0%	439	39.4%	349	-20.5%
	CO ₂ 排出量	3,651	1,370	-62.5%	945	-31.0%	1,317	39.4%	1,047	-20.5%
北見事業所	使用量	48	40	-16.7%	24	-40.0%	24	0.0%	0	
	CO ₂ 排出量	144	120	-16.7%	72	-40.0%	72	0.0%	0	
北広島中間処理場	使用量	0	0		0		0		0	
	CO ₂ 排出量	0	0		0		0		0	

※前年度に対して2%削減目標とする



中長期目標

2024年～2026年度の中長期目標については前年度に対して2%削減目標とする。

総評

今年度については、夏の猛暑が原因で、使用量の増加が各事業所で目立った。使用量の増加は業務量に比例してくると考えられるためやむを得ない。本社での節約はまだ可能と考えているので、再度検討する事とする。
前年度は途中から新社屋になったため、正確な比較は来年からになります。

中長期計画書

○環境負荷の状況と目標（基準年：2019年4月1日～2020年3月31日）

ガソリン使用量(二酸化炭素排出量)

二酸化炭素排出係数は各年度の環境省CO₂排出係数を使用。

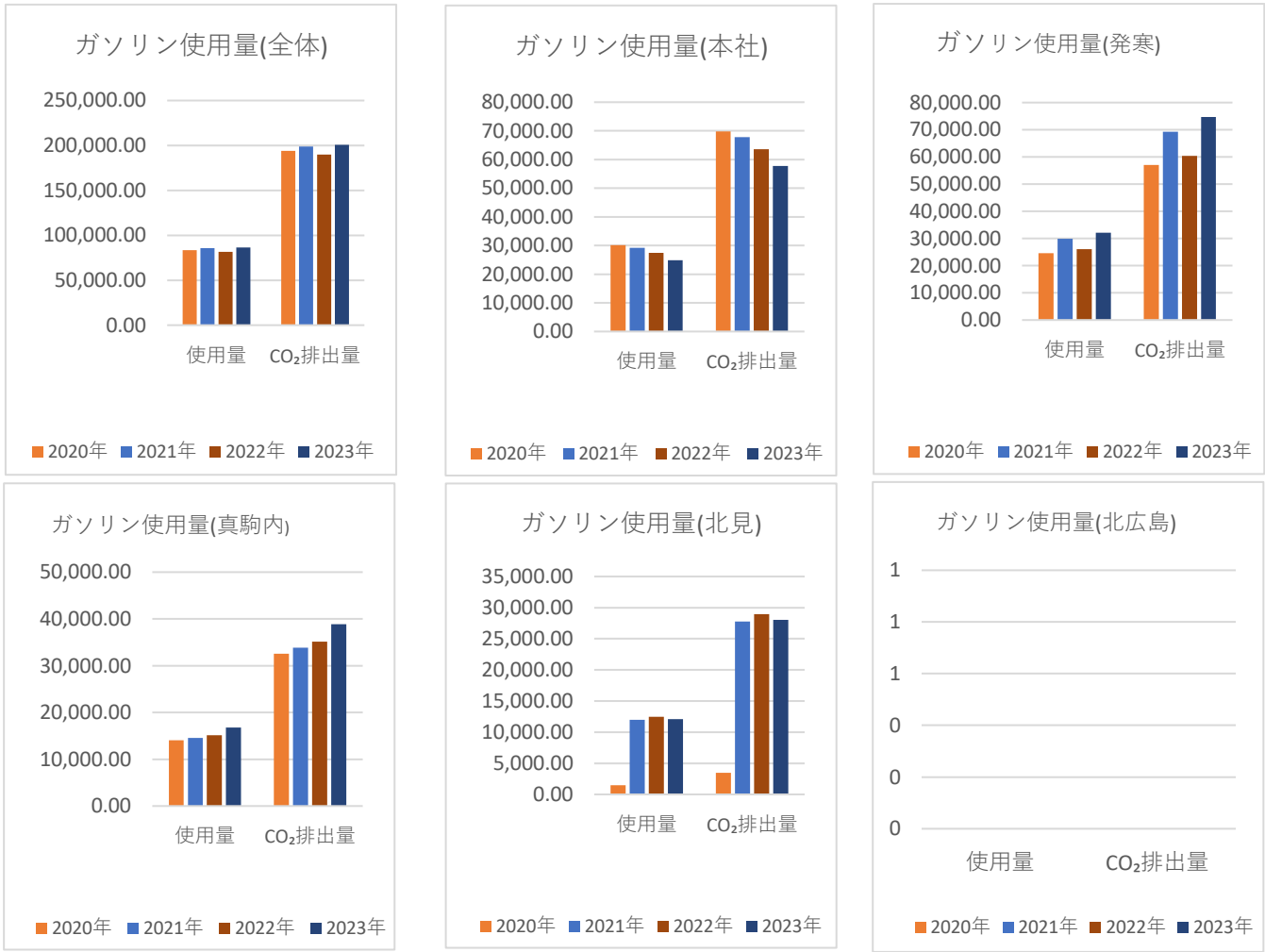
本社・発寒事業所・真駒内事業所・北見事業所・北広島事業所(kg-CO₂)

※赤字の％は前年に対しての対比率です。

二酸化炭素排出係数 2.32

事業所名	ℓ	2019年 (基準年)	2020年 (2%削減)		2021年 (2%削減)		2022年 (2%削減)		2023年 (2%削減)	
	kg-CO ₂									
全体	使用量	83,248.00	83,540.45	0.4%	85,672	2.6%	81,762	-4.6%	86,568	5.9%
	CO ₂ 排出量	193,135	193,814	0.4%	198,759	2.6%	189,688	-4.6%	200,838	5.9%
本社	使用量	24,930.30	30,098.02	20.7%	29,238	-2.9%	27,392	-6.3%	24,866	-9.2%
	CO ₂ 排出量	57,838	69,827	20.7%	67,832	-2.9%	63,549	-6.3%	57,688	-9.2%
発寒事業所	使用量	29,989.80	24,578.57	-18.0%	29,869	21.5%	26,046	-12.8%	32,169	23.5%
	CO ₂ 排出量	69,576	57,022	-18.0%	69,296	21.5%	60,427	-12.8%	74,632	23.5%
真駒内事業所	使用量	13,459.51	14,033.24	4.3%	14,593	4.0%	15,151	3.8%	16,764	10.6%
	CO ₂ 排出量	31,226	32,557	4.3%	33,856	4.0%	35,150	3.8%	38,892	10.6%
北見事業所	使用量	14,868.39	1,504.07	-89.9%	11,973	696.0%	12,488	4.3%	12,078	-3.3%
	CO ₂ 排出量	34,495	3,489	-89.9%	27,777	696.1%	28,972	4.3%	28,022	-3.3%
北広島中間処理場	使用量	0	0		0		0		0	
	CO ₂ 排出量	0	0		0		0		0	

※前年度に対して2%削減目標とする



中長期目標

2024年～2026年度の中長期目標については前年度に対して2%削減目標とする。

総評

今年度のガソリン使用量は全体的には目標を達成とはならなかった。その理由として工事の増加に伴い使用車両が増加したため。猛暑や厳しい冬の寒さも原因と考えている。
次年度は目標達成を目指す。

中長期計画書

○環境負荷の状況と目標（基準年：2019年4月1日～2020年3月31日）

軽油使用量（二酸化炭素排出量）

二酸化炭素排出係数は各年度の環境省CO₂排出係数を使用。

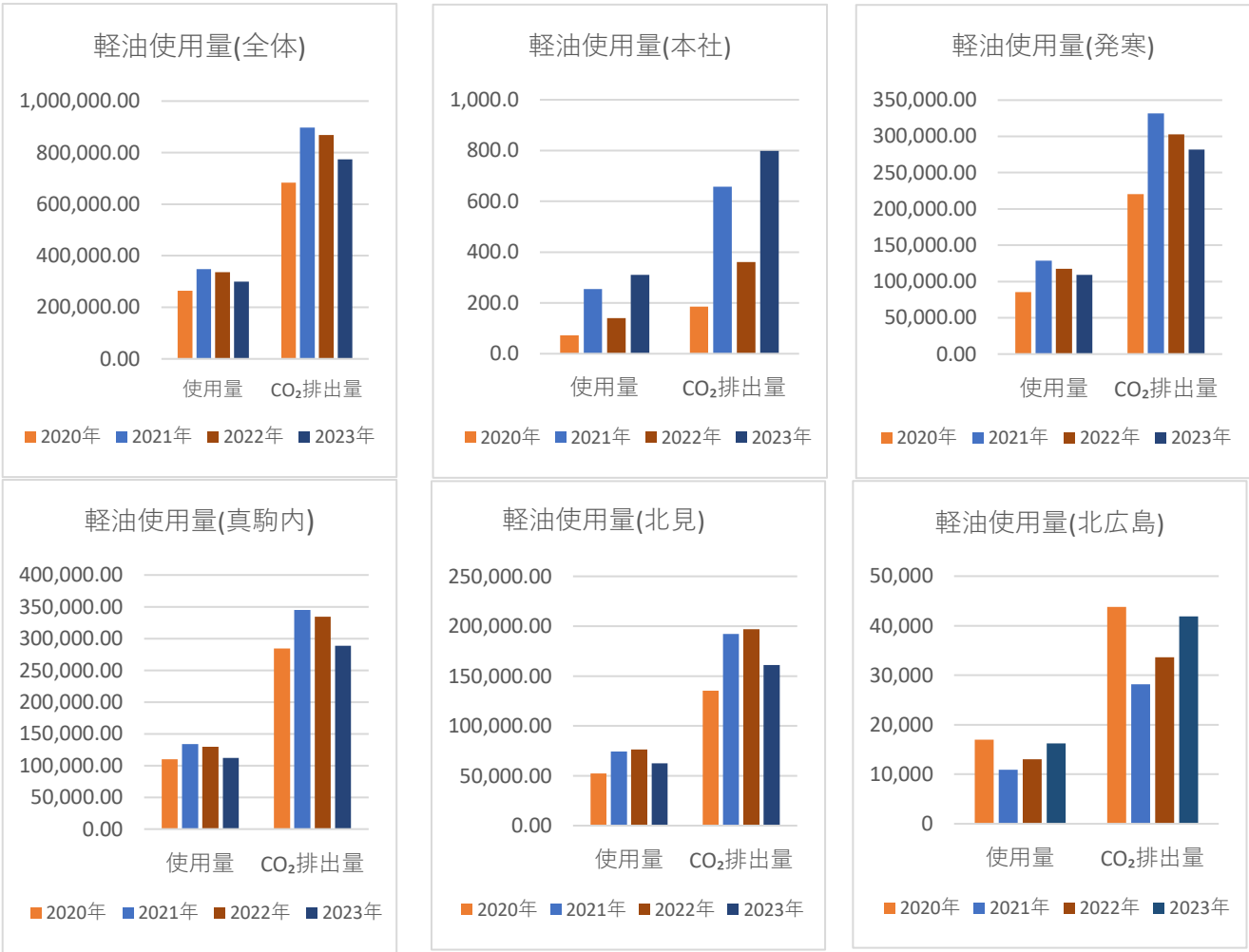
本社・発寒事業所・真駒内事業所・北見事業所・北広島事業所（kg-CO₂）

※赤字の％は前年に対しての対比率です。

二酸化炭素排出係数 2.58

事業所名	ℓ kg-CO ₂	2019年 (基準年)	2020年 (2%削減)		2021年 (2%削減)		2022年 (2%削減)		2023年 (2%削減)	
全体	使用量	251,690.79	264,904.08	5.2%	347,836	31.3%	336,409	-3.3%	300,097	-10.8%
	CO ₂ 排出量	649,362	683,453	5.2%	897,417	31.3%	867,935	-3.3%	774,250	-10.8%
本社	使用量	0.00	72.0		255.0	254.2%	140	-45.1%	310	121.4%
	CO ₂ 排出量	0	186		658	253.8%	361	-45.1%	799	121.3%
発寒事業所	使用量	92,135.90	85,347.83	-7.4%	128,583	50.7%	117,353	-8.7%	109,320	-6.8%
	CO ₂ 排出量	237,711	220,197	-7.4%	331,744	50.7%	302,771	-8.7%	282,044	-6.8%
真駒内事業所	使用量	88,207.90	110,102.47	24.8%	133,617	21.4%	129,562	-3.0%	111,863	-13.7%
	CO ₂ 排出量	227,576	284,064	24.8%	344,732	21.4%	334,270	-3.0%	288,606	-13.7%
北見事業所	使用量	56,292.50	52,405.01	-6.9%	74,474	42.1%	76,323	2.5%	62,380	-18.3%
	CO ₂ 排出量	145,235	135,205	-6.9%	192,143	42.1%	196,913	2.5%	160,941	-18.3%
北広島中間処理場	使用量	15,054	16,977	12.8%	10,907	-35.8%	13,031	19.5%	16,224	24.5%
	CO ₂ 排出量	38,841	43,800	12.8%	28,140	-35.8%	33,620	19.5%	41,857	24.5%

※前年度に対して2%削減目標とする



中長期目標

2024年～2026年度の中長期目標については前年度に対して2%削減目標とする。

総評

軽油の使用量については、ガソリン同様に事業量が大きく影響するためだと考えている。しかしアイドリングの時間の削減などを今後も行い削減を目標達成となる様に社員、作業員への協力も今後行っていく。

中長期計画書

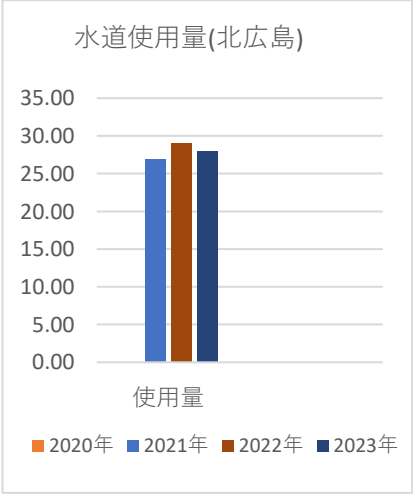
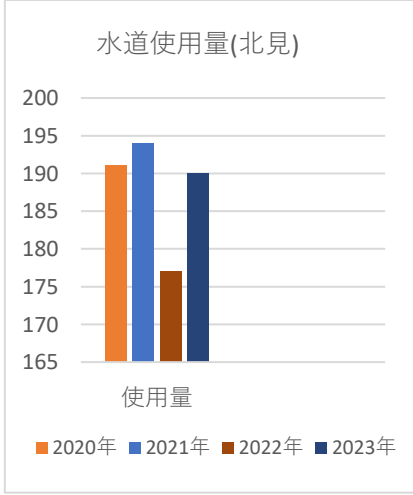
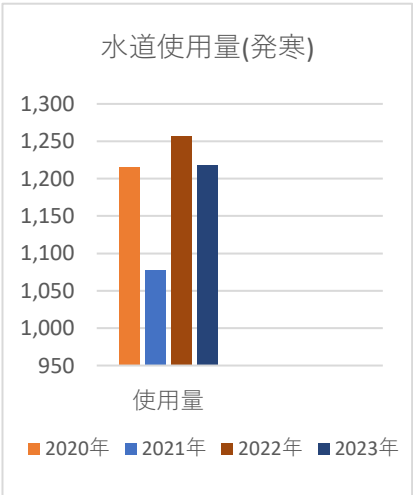
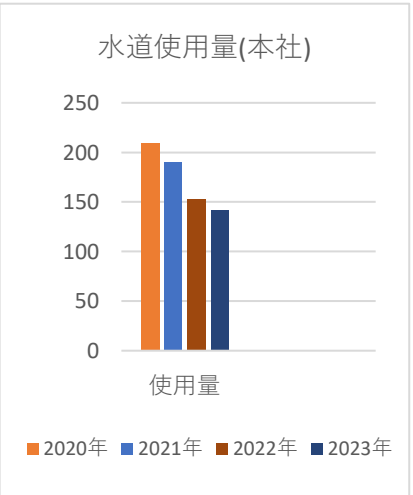
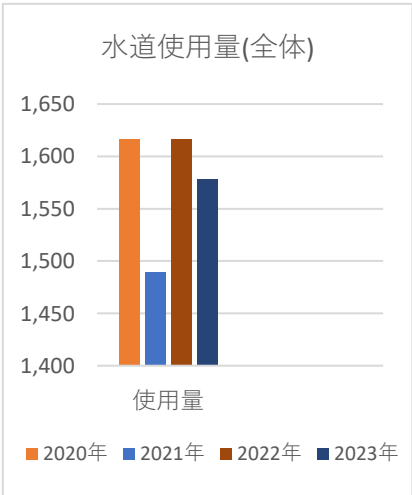
○環境負荷の状況と目標（基準年:2019年4月1日～2020年3月31日）

水道使用量

本社・発寒事業所・真駒内事業所・北見事業所・北広島事業所 (kg-CO₂)

※赤字の%は前年に対しての対比率です。

事業所名	m ³	2019年 (基準年)	2020年 (2%削減)	2021年 (2%削減)	2022年 (2%削減)	2023年 (2%削減)
全体	使用量	1,545	1,616 4.6%	1,489 -7.9%	1,616 8.5%	1,578 -2.4%
本社	使用量	217	209 -3.7%	190 -9.1%	153 -19.5%	142 -7.2%
発寒事業所	使用量	1,104	1,216 10.1%	1,078 -11.3%	1,257 16.6%	1,218 -3.1%
真駒内事業所	使用量	0.00	0.00	0	0	0
北見事業所	使用量	190	191 0.5%	194 1.6%	177 -8.8%	190 7.3%
北広島中間処理場	使用量	34	0.00	27	29 7.4%	28 -3.4%



総評

水道の使用量については業務により、役所からの供給もある為に前年度対比は難しいのが現状ではあるが、今年度は目標を達成することが出来た。使用削減出来る様に節水の協力は今後もお願いして行く。

中長期計画書

○環境負荷の状況と目標 (基準年:2019年4月1日～2020年3月31日)

灯油使用量(二酸化炭素排出量)

二酸化炭素排出係数は各年度の環境省CO₂排出係数を使用。

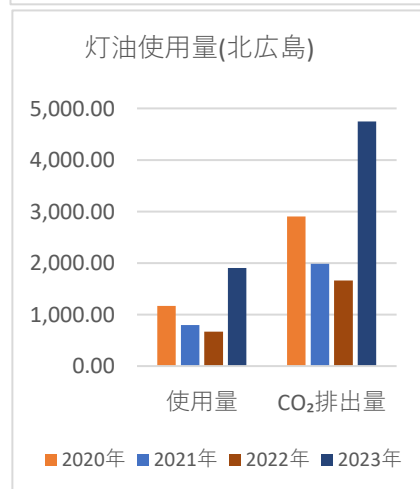
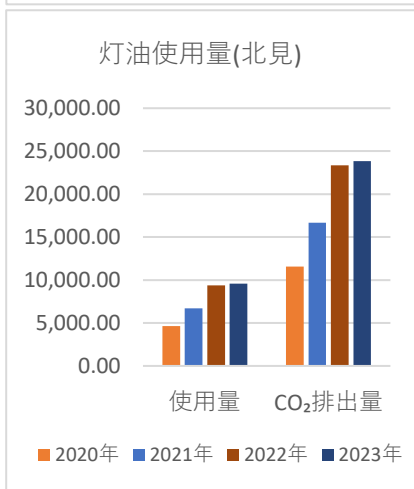
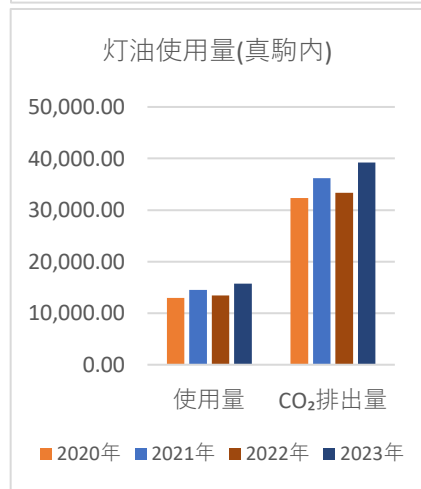
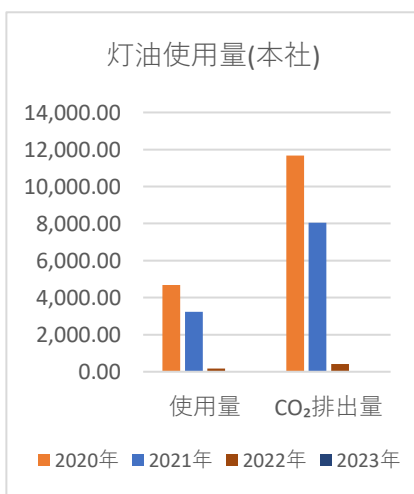
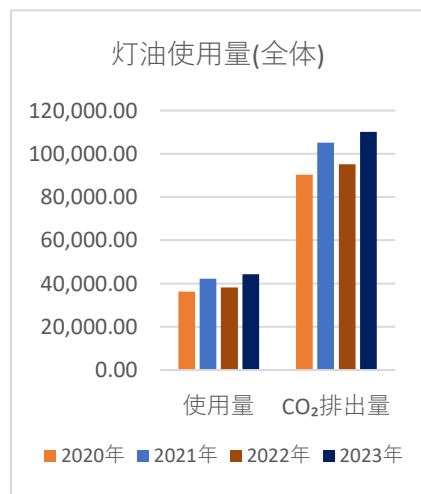
本社・発寒事業所・真駒内事業所・北見事業所・北広島事業所(kg-CO₂)

※赤字の%は前年に対しての対比率です。

二酸化炭素排出係数 2.49

事業所名	ℓ kg-CO ₂	2019年 (基準年)	2020年 (2%削減)		2021年 (2%削減)		2022年 (2%削減)		2023年 (2%削減)	
全体	使用量	42,064.79	36,250.02	-13.8%	42,237	16.5%	38,210	-9.5%	44,247	15.8%
	CO ₂ 排出量	104,741	90,263	-13.8%	105,170	16.5%	95,142	-9.5%	110,176	15.8%
本社	使用量	8,355.20	4,690.50	-43.9%	3,231	-31.1%	170	-94.7%	0	
	CO ₂ 排出量	20,804	11,679	-43.9%	8,045	-31.1%	423	-94.7%	0	
発寒事業所	使用量	15,258.84	12,772.42	-16.3%	17,001	33.1%	14,597	-14.1%	17,024	16.6%
	CO ₂ 排出量	37,995	31,803	-16.3%	42,332	33.1%	36,347	-14.1%	42,390	16.6%
真駒内事業所	使用量	12,883.55	12,980.50	0.8%	14,518	11.8%	13,406	-7.7%	15,749	17.5%
	CO ₂ 排出量	32,080	32,321	0.8%	36,150	11.8%	33,381	-7.7%	39,214	17.5%
北見事業所	使用量	5,144.00	4,640.00	-9.8%	6,690	44.2%	9,371	40.1%	9,567	2.1%
	CO ₂ 排出量	12,809	11,554	-9.8%	16,658	44.2%	23,334	40.1%	23,821	2.1%
北広島中間処理場	使用量	423.20	1,166.60	175.7%	797	-31.7%	666	-16.4%	1,907	186.3%
	CO ₂ 排出量	1,054	2,905	175.6%	1,985	-31.7%	1,658	-16.5%	4,749	186.4%

※前年度に対して2%削減目標とする



中長期目標

2024年～2026年度の中長期目標については前年度に対して2%削減目標とする。

1

全体的には使用量が増加しました、事業所での使用量の増加は冬場の仕様になる為、仕方がない部分でもあるが、人がいない時間帯に温度を下げるなどの努力は行う様に指示をする事とする。

代表者による全体の取組状況の評価と見直し・指示の結果

令和5年度のエコアクションについては、認証を受け3年目という事もあり、社員にはかなり浸透してきたと思うが、猛暑・大雪の影響もあり、全体的な削減目標を達成とはならなかった。

しかし社員には業務に支障の無い範囲での取り組みを周知しており、結果が全てではない事も周知している。

当社の業務には冬期間の除雪業務や緊急対応なども夏冬を問わずに業務がある為、冷房や暖房といった体調を管理できるのも現場では車輛のみとなり、その場合の車輛のアイドリングなどには従事する者の体調維持も含まれているため、必ずしもアイドリングを止めCO2の削減を行う様には指示はせず、あくまで出来る範囲での取り組みを周知している。

しかし、現場での使用が大きく起因しているのも現実であるため今後も出来る範囲での取り組みは周知していきます。

毎年の課題である担い手不足の問題については、令和5年度は1名の新卒者が入社した事は大変喜ばしい事でしっかりと成長して行って欲しいと思う。

ここ数年に入社した若手職員についてもスキルアップの資格取得を促している。1名合格し資格を取得したので、ほかの職員についても取得に向け努力してもらいたい。

昨年度に引き続き資格取得に会社としても全面的に協力していく体制を取ることを指示しており、社内独自の勉強会を開催し、模擬試験を行うなどの資格取得に向けサポートは行っている。

その他、自社所有の車輛や建設機械についても老朽化が進んできている為、順次車両の更新は行っている。

新型車輛のCO2の排出量は、メーカー発表ではあるが、年式の古い車輛の排出量よりかなり削減されている事は理解しているので車輛、建設機械等更新は順次行っていくが購入、更新には業績も関係してくるので、その辺りを含め適宜に更新を図りたい。

今後の取組目標に於いては、昨年同様に一2%の削減を目標とし活動を行いつつも、全項目において削減出来ればと思います。方針・計画についても変更なしです。